

# みんなで支えよう 雪と暮らすまち札幌

札幌は、人口190万人以上が暮らす大都市でありながら、ひと冬で6mもの雪が降る世界でも類を見ない街です。雪があることにより、北国ならではの文化が育まれる一方で、雪が多い故の課題もあります。

今回の特集では、札幌が抱えている雪の課題とその解消に向けた取り組みを紹介し、雪との暮らし方について考えていきます。

この特集へのお問い合わせは雪対策室計画課 ☎211-2682へ



## なるほど! 札幌にたくさん雪が降る仕組み

なぜ札幌には多くの雪が降るのでしょうか。その原因は「風」と「地形」にあります。

### 原因1

#### シベリア寒気団から吹く冷たく乾いた風

北海道の北西に発生したシベリア寒気団から吹く、冷たく乾いた風。この風が暖流で水蒸気が多い日本海の上を通ることで、水蒸気が雪の結晶となり、たくさんの雪雲を発生させます。

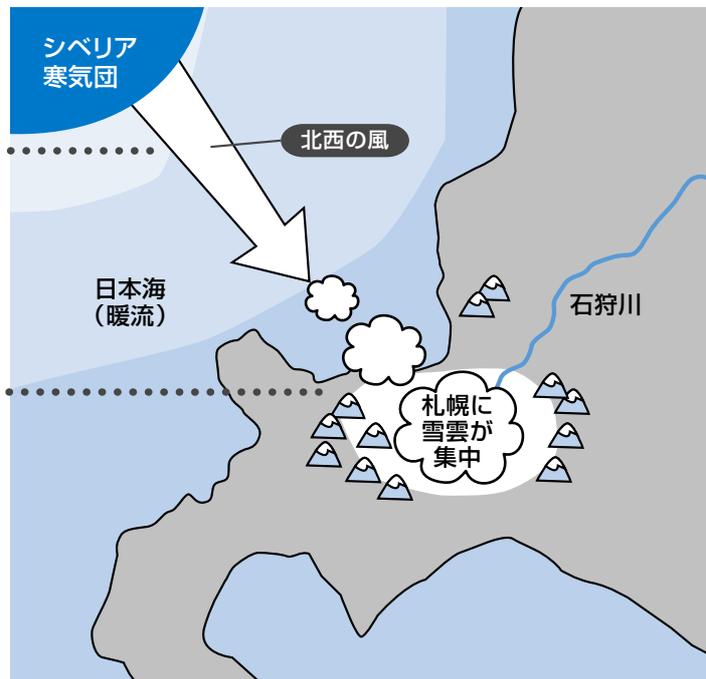
### 原因2

#### 雪雲を呼び込む特殊な地形

札幌がある石狩平野は周囲を山々に囲まれているため、風に乗った雪雲が呼び込まれてとどまります。



とどまった雪雲により、  
札幌には多くの雪が降るのです。



# 降り積もった雪をどうする? 市の取り組みと課題

## 除雪

路面の雪を道路脇に寄せせる作業で、降雪量10cmを目安に開始します。市内全域で一晩作業を行うと、総延長は約5,300kmに。これは札幌から沖縄県の石垣島までを往復する距離に相当します。



## 大雪が降ったときの対応は?

昨年度のような局地的な大雪に対応するため、緊急時の応援体制を確立し、円滑に作業を行えるようにするとともに、市民の皆さんへの情報提供をより充実させます。

## 排雪

除雪を繰り返すことで道路脇に積み上がった雪を、運び出す作業です。昨冬の市内の排雪量はなんと札幌ドーム12杯分。その雪の多くは雪たい積場に運ばれていますが、現在さまざまな課題を抱えています。



# 排雪した雪の置き場が足りなくなる!? 今、雪たい積場が抱えている課題

### 課題1

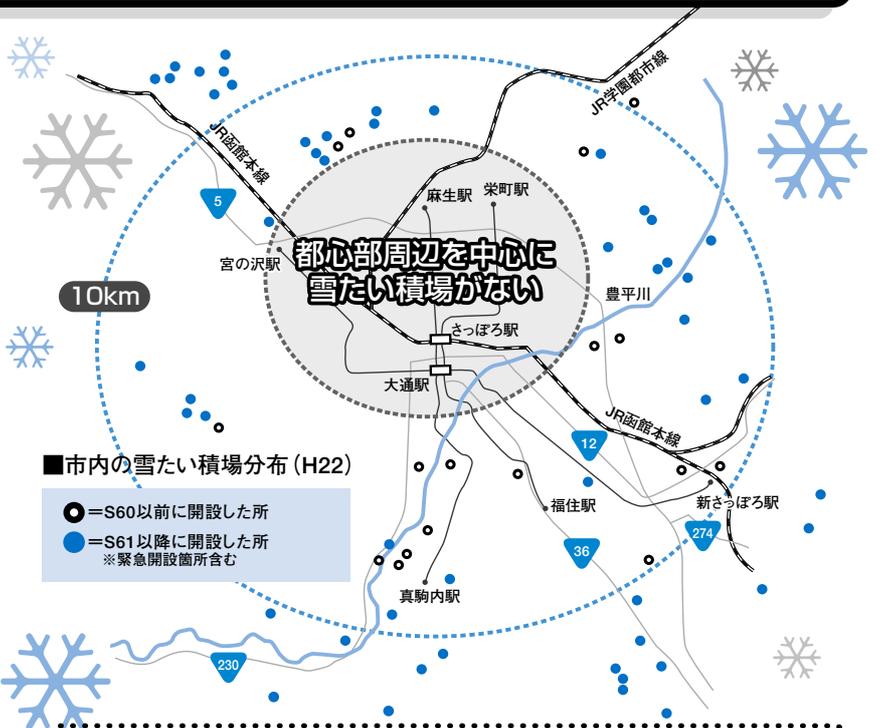
#### 安定的な土地の確保が難しい

雪たい積場の多くが借地であり、所有者の事情で継続的な使用が困難になることも。また、近隣住民の協力を得にくいことなどから、広い土地を新たに確保することも難しくなっています。

### 課題2

#### 市街地から遠くなっている

人口が増え、都市化が進んでいる中で、雪たい積場を市街地に設けることが難しくなっています。そのため雪たい積場の郊外移転が進んでおり、排雪した雪の運搬に、より多くの時間と費用が掛かっています。



■市内の雪たい積場分布 (H22)

- = S60以前に開設した所
- = S61以降に開設した所
- ※緊急開設箇所含む

## 豊平川河川敷は雪を置くための貴重な空間

雪たい積場の郊外化が進む中で、豊平川河川敷は市街地にある貴重な積スペースです。今後も、ダンプトラックの騒音を防いだり、排雪された雪に含まれるゴミを取り除いたりするなど、地域の環境を守りながら、豊平川河川敷を有効に活用したいと考えています。

## スムーズな排雪が難しくなっています

排雪された雪を運ぶダンプトラックの運行を管理していますが、雪たい積場が遠く、運搬に時間がかかっています。ダンプトラックの数には限りがあるため、排雪作業が遅れないよう、車両の調整に頭を悩ませます。効率的な作業を心掛けていますが、スムーズな排雪を行うため、皆さんのご協力をお願いします。

とくさしひでのり  
豊平区東地区除雪センター長 徳差 英憲さん



私たちの冬の暮らしを守るため、市は皆さんと協力しながら、さまざまな取り組みを進めています。

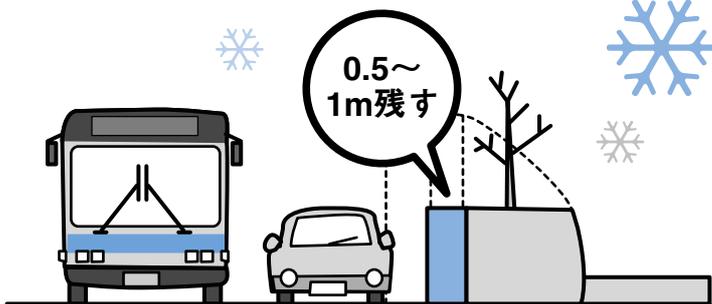
# で創る札幌の冬の暮らし

## 行政

冬の暮らしを守るため、市では排雪する雪の量の抑制や、近隣市などと連携した効率的な排雪に取り組んでいます。

### 抑制 排雪量を減らす

車両通行の支障とならない程度に路肩の雪を0.5~1m残し、排雪する雪の量を減らしています。一方、バスレーンのように、通勤や通学に関わる主要な道路については排雪を強化するなど、メリハリのある排雪を行っています。



### 連携 近隣市と雪たい積場を共有

国や近隣の石狩市などと連携し、お互いの雪たい積場を融通し合っています。それにより、トラックの運搬距離を短縮し、効率的な排雪につなげています。

### その他にも

- 公園や雨水貯留池など、既存の公共用地を雪置き場として利用
- 小学校のグラウンドを、通学路の安全確保のために排雪した雪の置き場として活用



↑市内に31カ所ある雨水貯留池を地域の雪置き場として利用

## 市民

雪たい積場に運ぶ雪が減ると、排雪作業がスムーズに行われ、地域の暮らしを守るにつながります。そのため、皆さんに守ってほしいマナーがあります。

### 道路に雪を出さない

家の敷地内の雪を道路に出すと、交通事故の原因となるほか、雪たい積場に運ぶ雪の量が増え、作業に時間がかかります。それが他の地域の排雪の遅れにつながり、安全な道路の確保ができなくなります。

### 排雪費用は除雪の80倍!

幹線道路1km当たりの除雪費用は約3万円。これに対して、排雪作業には多くの人手と機械が必要となるため、その80倍の約240万円も掛かります。



### 雪を汚さない

雪の中にごみが混ざると、解けたときにごみが路上に残るほか、雪解け水によって流され、川が汚れてしまいます。夜中のごみ出しや、空き缶・たばこなどのポイ捨てはやめましょう。



### 路上駐車をしない

車両を避けて作業しなければならず、十分な除排雪ができません。作業スピードが落ち、結果として除排雪されないままになることもあります。



# 行政×市民 力を合わせみんな

行政  
×  
市民

行政と市民が、除排雪の仕組みや地域の課題を共有する取り組みを進めています。ぜひ参加して、地域の冬の暮らしを考えてみませんか？

## 除排雪の現状を知る・学ぶ

除排雪の疑問・仕組みが分かる説明会を開催するなど、除排雪に関する情報を積極的に提供していきますので、ぜひご活用ください。

地域での

### 説明会を開催します

町内会の会合などに合わせて、市職員が出向いて除排雪の仕組みなどを説明します。詳細は各区の土木センターにお問い合わせください。



### パンフレットを配布中

除排雪の仕組みが分かりやすく描かれたマンガや絵本のパンフレットを、市役所や各区役所などで配布しています。



### ホームページもご覧ください

明朝の雪かき指数や各区の気温、警報などが詳しく分かるホームページです。

[www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/weather/index.html](http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/weather/index.html)

さらに取り組みたい方はこちらも!

## 地域懇談会で地域の課題を話し合おう

地域の皆さんと除雪事業者、市の職員の三者が、地域が抱える除排雪の課題を話し合い、解決に向けた取り組みを行っていきます。懇談会をご要望の場合は各区の土木センターにお問い合わせください。



### 公園を雪置き場として活用しています

道路脇に積もった雪の置き場に困っていたため、土木センターと利用のルールを決めて、公園を雪置き場として活用しています。雪を運べる場所が近くにでき、道幅や視野が広がって安全に歩けるようになったので、住民からはとても好評です。雪解け後は地域でゴミ拾いなどを行い、住民同士の交流も広がっていますよ。



北野第2団地  
自治会長  
たなか しげお  
田中 稯生さん



↑雪置き場として使われている公園

## 札幌らしい冬の暮らしを皆さんと築く

雪と共生していくに当たって、札幌は多くの課題を抱えています。市は、今年も除排雪のための予算をしっかりと確保していますが、雪のある暮らしを支えるためには皆さんの協力が欠かせません。一人一人がマナーを守り、雪と向き合うことで地域の交流を深める。そんな札幌らしい冬の暮らしを、みんなで創っていきましょう。

札幌市長  
うえだ ふみお  
上田 文雄

